

# 令和2年度 更北地区住民自治協議会 事業計画

## I 本会の活動

### 1 会議等の開催

総会のほか、常任評議会、部会長会及び予算調整委員会などの会議を開催

### 2 各種団体の整理

各種団体の存続・統廃合・新加入を検討し、その団体が担っている事業の必要性など様々な角度からの見直し整理

### 3 必須事務の実施

各種団体の支援や協力を得ながら必須事務の実施

### 4 選択事務の検討

各種団体の整理と併せて選択事務実施の検討

### 5 各団体への活動助成

各種団体の活動を支援するため、予算の範囲内で必要な財源的援助

### 6 各種募金の募集及び取りまとめ

「日赤活動資金」「赤い羽根共同募金」「緑の募金」等

### 7 住民自治活動保険に関すること

住民が安心して、区や自治会・住民自治協議会の活動に参加できるよう、保険に加入しての安全対策

・保険期間 令和2年6月1日から1年間

### 8 「更北まちづくり委員会」のサポート

### 9 川中島古戦場まつり、三太刀まつりの協力

## II 各部会の活動

### 1 総務・安全・環境部会

◎総務担当

(1) 広報紙の発行

(2) 地域間交流事業の実施

(3) あいさつ運動の推進

## ◎安全担当

- (1) 新入学児童祝い品の配布

## ◎環境担当

- (1) 花いっぱい運動の実施
- (2) ゴミゼロ運動・春・秋の大掃除の実施
- (3) 新任環境美化推進員学習会・視察研修会の実施
- (4) ゴミステーション更新補助
- (5) 不法投棄防止啓発用等看板の設置事業
- (6) 反射鏡（カーブミラー）清掃・樹木剪定事業
- (7) その他必須事務
  - ・ごみ集積所における分別用備品等の管理及び違反ごみの対応
  - ・「ごみ分別強化月間」集積所巡回指導
  - ・不法投棄に関する情報提供及び防止に関する対策

## 2 社会福祉協議会

- (1) 地域包括ケア(支え合い)の推進
- (2) 更北地区子どもフェスティバルの開催
- (3) 健康づくり講座の開催
- (4) 親子ひろばの実施
- (5) ふれあい福祉バザーの開催
- (6) 福祉自動車の運行
- (7) 介護者の集い・きぼうの旅の実施
- (8) 住民福祉大会の実施
- (9) 結婚相談事業への協力
- (10) オレンジカフェの開催
- (11) 地域福祉活動計画の策定
- (12) その他必須事務
  - ・社会福祉協議会理事、評議員の推薦
  - ・長野市社会福祉大会における被表彰者の内申
  - ・災害見舞金品事業に係る罹災者の報告

## 3 公民館部会

- (1) 更北地区スポーツ大会の開催      2020    9/20（日） 予定
- (2) 更北地区文化芸術祭の開催      2020 11/      （日） 予定
- (3) 人権講習会の実施
- (4) 成人式の運営
- (5) スポーツ講習会・ゲートボール大会・綱引き大会の実施

#### 4 育成会・男女共同参画部会

- |                                     |            |                            |
|-------------------------------------|------------|----------------------------|
| (1) 育成会・男女共同参画合同研修会<br>女性の品格と子育て(仮) | 6月13日(土)午後 | 講演会パネルディスカッション<br>110,000円 |
| (2) 地域のふれあい体験交流<br>「未来の更北地区の街を作ろう」  | 8月8日(土)午前  | 高おじさんと積み木で遊ぼう<br>100,000円  |

#### 5 地域活性化部会

- (1) まちづくり活性化事業
  - ・各種イベントに農産物を出店して協力促進する
- (2) 地域農業の活性化事業
  - ・地元農産物の販売促進及び消費宣伝を行う
- (3) 更北ブランド商品の開発・調査・研究事業
  - ・真島産の大麦、米、柿を使用した「更北ブランド商品」  
(三太刀、七太刀、お粥、柿酢)の更なる研究を行う
- (4) 学農事業
  - ・小学生との農業体験事業

### Ⅲ 地区委員会の活動

#### 1 青木島地区委員会

- (1) 環境整備事業(犀川遊歩道、公園・遊園地)
  - ・環境部門、各区役員が主体となり、丹波島橋上流及び長野大橋上流の犀川右岸堤防遊歩道の整備
  - ・地区内の公園、遊園地内の草刈り、砂場の整備
  - ・長野大橋上流河川敷の有効利用についての検討
  - ・犀川南マレットゴルフ場の支援
- (2) 防災対策事業
  - ・各区で自主防災組織が主体となる防災訓練・各区のイベントの安全防災活動
  - ・避難行動要支援者名簿は、民生児童委員、自治会役員等が連携して随時見直し
  - ・防災、減災の意識向上の啓発推進
- (3) 見守り事業
  - ・地区内の小、中学校児童や生徒、高齢者等の安心安全の為、各区でパトロールを行い、治安維持の向上活動
  - ・更北地区支え合い活動計画の啓発・推進
- (4) あいさつ運動事業
  - ・学校と地域が協働して、あいさつ運動を協力・奨励
- (5) 渋滞対策事業
  - ・丹波島橋周辺の渋滞緩和、丹波島橋南交差点改良等について、課題等の検討
- (6) その他
  - ・川中島古戦場まつり等の協力

- ・地域の活性化を図るための必要な協力や支援についての検討

## 2 真島地区委員会

### (1) 防犯・防災事業

- ・小学校児童の登下校の見守り活動を実施
- ・各区、各自治会において自主防災訓練を実施
- ・交通安全については死亡事故ゼロを目指し講習会を行い、事故防止を啓蒙

### (2) 地域活性化補助事業

- ・各種活動団体、委員会等に補助金を助成・参加
- ・災害に強いまちづくり
- ・地域史跡の発掘

### (3) 地域伝統文化、福祉活動の実施

- ・地域伝統文化、委員会活動の支援と協力
- ・各自治会でのお茶のみサロン、敬老会の実施

## 3 小島田地区委員会

### (1) 福祉事業の推進

- ・お茶のみサロン、寄合サロンの推進による地域交流・絆づくり
- ・各種福祉活動の推進(要援護者等に対する声掛け等)
- ・顔の見える近所付き合いを進め、地域交流・地域の支え合い推進

### (2) 防災・減災に向けた地域の取り組み強化

- ・「台風 19 号災害」を教訓とした「小島田地区防災マニュアル」の改訂版作成、配布(8月目途、「小島田自主防災研修会、住民意見交換会」開催等)
- ・防災意識の醸成、共有、実践的な「防災研修」「防災訓練」の実施
- ・大洪水災害等に備えた「地区別住民名簿」「危機管理体制」の整備

### (3) 住民参加の見守り活動の推進

- ・下氷鉋小児童見守り活動の推進
- ・児童・高齢者の安全確保(事故・犯罪・健康見守り声掛け)
- ・地域あいさつ運動の推進

### (4) 川中島古戦場史跡公園の活性化に協力

- ・「三太刀まつり・古戦場まつり大花火大会」へ積極的に参加と地元支援強化
- ・川中島古戦場史跡公園の活性化に向けた意見提起推進

### (5) 「小島田ふれあいまつり」の充実開催・・・9月21日の成功に取り組む

- ・小島田地域交流のシンボル、地域総参加、参画による「小島田ふれあいまつり」
- ・魅力あるイベント企画(出演)、子ども広場、実行委員会体制の確立
- ・「敬老の日」開催をふまえ高齢者等の招待と地域の絆づくり

### (6) 地域要望等の実現に取り組む

- ・「県・市土木要望」提言まとめ

- ・「台風 19 号災害」早期被災復旧、堤防強化策工事の促進化要望

- ・住自協と連携した犀南地域交通渋滞対策促進

(7) 資源回収の取り組み強化

- ・毎月第二日曜は「資源回収の日」積極推進（売上金・報奨金の地域還元、小島田ふれあい祭りの原資、全世帯参加の推進）

(8) 更北・小島田地区各種団体事業、施策への積極参加

- ・更北住自協・小島田地区委員会の取組施策への住民参加促進
- ・「ふれあい福祉バザー」「各種募金」に対する協力支援

#### 4 稲里地区委員会

(1) まちづくり

- ・甚大な被害が出た台風 19 号、防災対応に課題残す。各地域の自主防災組織の役割と活動を理解し防災意識を高め、特に千曲川・犀川河川地域の水防活動見直し、有事に備えを！

- ・更北地区支え合い活動計画を踏まえ、地域ニーズの把握や地域事情に沿った計画的な各地域自治活動の推進、近隣・地域コミュニティの構築、「自助」と「互助」でつくる包摂的社会  
※昭和・平成時代を振り返り、学び、学び合い「自治・福祉・防災」を三位一体で見直す。

- ・第8回「稲里町ふれあい祭り」の開催、地域・学校・企業・各種団体と連携・協働の推進  
開催予定日 令和2年9月6日（日）

- ・「ホテルの郷再生事業」の継続推進する。小島田区長会と連携・協働

- ※校章の由来、雪の結晶と三匹の蛸に託して、「蛸雪の功を積む」ごとく学業に励む姿

(2) ひとつづくり

- ・地域自治と地域内の小中高校の児童会・生徒会等との連携を促進させ、各種事業に子ども達の参加を促し、郷土を感じる「場」、地域社会とのつながる学びの「場」づくり。

(地域への誇りや愛着を深め、住民共通の拠り所となり、地域社会の連帯感を強めることに資する)

- ・登下校時の交通安全・防犯見守りに住民参加の「～ながら見守り活動」、並びに「あいさつ・声かけ運動」の継続推進 あいさつは親から、大人から、地域から！

- ※地域文化を涵養し、地域社会の維持・継承

- ・稲里フォーラムを継続推進する。

「目指す地域像」を描くプロセスで地域課題を共有される話し合いの場、交流会等の実施

- ※家族と地域社会の変化

(3) 健康づくり

- ・地域ごとに「いきいき健康体操」や各種サークル・サロン活動の推進、人と人との関係「交」

- ※ソーシャル・キャピタル（人々のつながりから得られる資源）の醸成

- ・2025、2045年問題を見据え「つきあい・交流」「信頼」「社会参加」を醸成する。

- ※人と人とのつながりから広がる安心社会、誰でも参加できる地域の茶の間づくり